

SRIDNEWSLETTER No.320 July 2002 国際開発研究者協会 創設者

大来佐武郎

〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-17 千代田会館 5 階 FASID 内

モルドバ共和国から

西ヶ谷邦正

「アジアの貧困削減における社会関係資本としての仏教

□拙著『仏教・開発・NGO』の出版によせて」

名古屋大学大学院国際開発研究科助手 野田真里

お知らせ

1. 休会 国田 真紀子さん

会員異動 有原 元博さん ネパールより一時帰国

野本 啓介さん 北星学園大学 経済学部 専任講師

2. シンポジウム 日時：7月27日（土）10時頃より（1日間）

場所：一橋大学学術総合センター（神田）

テーマ：開発戦略としての「貧困」

基調講演：小浜 裕久氏 静岡県立大学教授

3. 事務局の移転

事務局の机が FASID 内で移転するため、8月1日(木)、より
8月5日(月)まで事務局の電話が使えなくなります。

急用の際は 三上(自宅) 03□3418□2802 までご連絡下さい。

eメールは通常どおり使えます。

モルドバ共和国から

金沢星稜大学 大学院教授 西ヶ谷邦正

私は JICA の開発計画調査団で、モルドバ共和国の首都キシニョフに到着したところです。フランクフルトからはボンコツのロシア製飛行機でした。案件は同国北部地域の水供給の改善で、昨年マスタープランを作成し、今回はフィージビリティスタディということになっています。私の担当は、財務分析と財務管理、そして経済分析です。滞在期間は2ヶ月半で8月23日には調査団全員一緒に帰国します。

モルドバ共和国は旧ソ連の1国で、ルーマニアとウクライナに挟まれた小さな内陸国です。その小さな国土のうち、同国第一の大河ドニエステル川の東岸は親ウクライナの分離派政権が支配しており、首都キシニョフの政府は同川の西岸を支配しています。人種・言語はルーマニア系ですが、ロシア系、ウクライナ系住民も多く、またロシア語は広く通じます。旧ソ連から独立し、モルドバ語（ルーマニア語の方言）が国語となったことを祝う「言語記念日」は国の祭日となって昨年まで盛大に祝っていましたが、最近ロシア寄りの共産党大統領が当選し、ロシア語重視政策を打ち出したために、ルーマニア寄りの住民との間にトラブルが発生し、日本人調査団の先発隊の到着も1ヶ月遅れました。

国民一人当たりの GDP は300ドル台で、旧ソ連内ではもちろんのこと、東欧でも最貧国です。農業国ですがそれだけでは生活できません。共産主義時代に建設された工場は殆ど止まっており無用の長物となっています、エネルギーは自給できずロシアから輸入の電力代金が払えず、よく送電がストップされて水道の断水の原因になっています。しかし最近は為替レートも物価も安定しています。それは西欧諸国への出稼ぎがもたらす外貨収入が経

○Á□Ъ切

勸

¡切切 切切□切□切

